

「がん患者における埋め込み式中心静脈カテーテル（CV ポート）留置による合併症の検討」へのご協力のお願い

—平成19年7月1日～平成23年9月30日までに当センターでCVポートから抗がん剤投与を受けられた方へ—

研究機関名	岡山大学病院腫瘍センター		
責任研究者	岡山大学病院腫瘍センター	准教授	田端雅弘
分担研究者			
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科血液腫瘍呼吸器内科学分野		
		教授	谷本光音
	岡山大学病院腫瘍センター	准教授	田端雅弘
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科血液腫瘍呼吸器内科学分野		
		助教	西森久和
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師長	西本仁美
	岡山大学病院腫瘍センター	副看護師長	高下典子
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師	露無祐子
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師	松島幸枝
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師	久山めぐみ
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師	福武 恵
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師	井上佳子
	岡山大学病院腫瘍センター	看護師	藤田百恵

1. 研究の意義と目的

がん患者様が埋め込み式中心静脈カテーテル（以下、CV ポート）を留置して抗がん剤を投与することは、抗がん剤が血管外に漏れてしまうリスクが軽減されます。また血管に留置針を刺す際、失敗することがありますが、CV ポートの場合には、ポート専用の針を刺す時に失敗しないという利点があります。しかし、CV ポート留置による合併症が、当院でも約10%で合併症が出現しております。この合併症を予防する、もしくは最小限に抑えることは重要です。この研究では、これまでに当院腫瘍センターでCV ポートからの抗がん剤投与を受けられた患者様の患者情報からCV ポート合併症のリスク因子を見つけ出すことを目的とします。この研究成果は、CV ポート合併症の予防・軽減に役立ち、今後の診療において非常に有用な情報になると期待しております。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成19年7月1日から平成23年9月31日までの期間、当院腫瘍センターでCVポートから抗がん剤治療を施行された外来患者様です。

2) 調査期間：

平成24年2月開催の倫理委員会承認後から平成27年3月31日まで

3) 研究方法：

平成19年7月1日から平成23年9月31日までの期間、当院腫瘍センターでCVポートから抗がん剤治療を施行された外来患者様の診療情報をもとに研究者がデータを選び、CVポート留置による合併症に関するコンピュータ分析を行いこれらの関係を調べます。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、全身状態、生活歴（飲酒・喫煙歴）、血液学的検査、凝固学的検査、生化学的検査、身体特徴（身長、体重）、CV ポート留置期間、CV ポート合併症の有無とその後の状況、画像検査

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学病院腫瘍センター内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 24 年 3 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。この期間中にお申出がなければご了解を得たものと判断させていただきます。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 腫瘍センター

氏名：西森久和

電話：086-235-7227 ファックス：086-232-8226